

第1回城端線・氷見線LRT化検討会 議事概要

1. 日時

令和2年6月8日（月）14時から14時45分まで

2. 場所

ウイング・ウイング高岡5階503研修室

3. 出席委員

中谷座長、河村座長代理、篠田委員、齊藤(一)委員、齊藤(宗)委員、大路委員

4. 議事（概要）

（1）城端線・氷見線LRT化検討会の設置について

「城端線・氷見線LRT化検討会 規約」が承認され、河村委員が座長代理に指名された。

（2）城端線・氷見線の未来に向けた検討の提案について

JR西日本から、城端線・氷見線のLRT化など新しい交通体系の提案について改めて説明がなされた。

○「どんなまちづくりをするか」を出発点とし、「沿線における将来のまちづくりを先導するインフラストラクチャーとなる新しい交通体系」について、地域にお住いの皆様に「効果のある施策だ」と思ってもらえるようともに検討を進めてまいりたい。

（3）JR西日本提案に対する各市の意見

各委員からJR西日本の提案に対し、まちづくりの面や観光面などから期待すること等について発言があった。

○LRT化による効果や実現の可能性について、沿線市のまちづくりとの整合性も図りながら、県と3市とともにしっかりと検討していきたい。

○LRT化により直通化が実現すれば新高岡駅への利便性が高まることから、安定的な運行形態も含め、市民の意見を聞きながら慎重の中にも前向きな検討を期待したい。

○まちのシンボルとして賑わいの創出に期待が膨らむ一方で、導入費用もさることながら、整備後のランニングコストへの懸念もあることから、本検討会で調査研究を重ねながら、慎重に議論していきたい。

○今回の提案については、利用者の利便性向上につながる前向きな提案と捉えており、引き続き城端線・氷見線を市の公共交通ネットワークの中心と位置付けたまちづくりを行っていきたい。

（4）今後の検討の進め方について

①需要予測調査等、各市における利用促進や地域活性化等の取組みを検討する上で必要となる調査を実施すること

②調査と並行して、各市において将来のまちづくりを見据えたLRT化による新駅の設置や駅周辺整備・開発、観光振興との連携等の取組みを検討することについて合意がなされた。